▶ This and That at MISHOP

MISHOP News from all activities.

# みんなの活動だより

はっこう 発行: MISHOP広報部会 2018.7 **60** 

### 「キックオフミーティング 2018」 開催

12人に表彰 状贈呈

キックオフミーティング 2018 (公益財団法人三鷹国際交流 協会会員報告会)が6月23日14時より開催されました。46人の出席で会場がいっぱいになりました。河村孝理事長の挨拶の後、正満たつる子さんをはじめ、12人の会員に表彰 状が贈られました。来年創立 30周年を迎える MISHOP を長年支え続けてきた会員に、会場から大きな拍手が送られました。その後、家庭の清原をで流しまりますがあり、「市としても MISHOP を積極的に応援して共存共栄で国際交流を図りたい」とははした。とい話がありました。

がしたひでかずしましまくちょう ないて ないて がした ひでかず しままくちょう はいかく ないて 発表があり、加えて MISHOP の 3 つの柱についての説明がありました。地域における国際交流の推進事業として「ジャパニーズラウンジ」「イングリッシュラウンジ」「三鷹国際交流の推進事業として「ジャパニーズラウンジ」「スキーツアー」「ウォークラリー」等、国際理解の推進事業として「国際理解講座」「子ども世界の文化体験が、 など がいこくせき しゅん の生活支援活動の推進事業として「日本語教室」「子ども教会」等、外国籍市民への生活支援活動の推進事業として「日本語教室」「子ども教室」「日本語個人レッスン」「災害発生時の外国籍市民支援対策」等。MISHOP の幅広い活動を改めて認識させられました。

ぎい こ かくぶがい ほうこく ていれいかつどうほうこく かいいん 最後に各部会からの報告と定例活動報告や、会員グループの活動報告が各代表 ェッ 者からあり、キックオフミーティングは終了しました。

来年は創立 30 周年を迎え、三鷹国際交流 協会の活動の真価が問われることに なりそうです。何気ない日常生活の中での国際交流が大事なのだと感じたキックオフミーティングでした。

### "MISHOP Kick-off Meeting 2018"

The 2018 MISHOP kick-off meeting (MISHOP membership meeting) was held on June 23rd. After the greetings of Chairman Takashi Kawamura, awards were given to 12 members who supported MISHOP for many years. Next, Mayor Kiyohara gave a greeting saying "It is my hope that this city continues its active support of international exchange for the benefit of everyone."

Mr.Hidekazu Kajita, MISHOP General Secretary, presented the business report for 2017 and the business plan for 2018. Lastly, there were reports of activities for each group, regular activities, and membership groups.

Next year will mark the 30th anniversary of MISHOP's founding which will provide an opportunity to reevaluate the purposes of all MISHOP activities.



## 世界を食べよう! チリ に 28人参加

世界各国の料理を作りながら異文化理解を深めるイベント「世界を食べよう!」の「なべい」があるが、から異文化理解を深めるイベント「世界を食べよう!」の「なべい」が、から月30日、三鷹市地域でコミュニティ・センターの料理実習室で開かれました。募集開始と同時に定員一杯になるほどの人気で、メキシコ、イタリアなど5か国・地域出身の外国籍市民7人を含む28人がチリ料理に挑戦しました。

議師を務めたのはチリ出身のヴァレリア・ルベルトさん。今年2月に来自したばかりで、現在、LLJで日本語を学んでいます。この日は夫のアンドレス・グズマンさんがアシスタントを務めました。

メニューは「ペブレ・チリーノ(生トマトの辛味ソース)」「クラント・エン・オラ(ジャガイモと海鮮の煮込み)」「トゥロン・デ・ヴィノ(ワイン風味のメレンゲ)」の3 沿。参加者は4グループに分かれて調理しました。

料理を味わったをは、ヴァレリアさんが映像を使って、南北に細葉いチリの風土や文化を紹介。最後にアンドレスさんとチリの国民的舞踊「クエカ」を披露し、盛大な拍手を浴びました。

#### "LET'S EAT AROUND THE WORLD-Chile"

"LET'S EAT AROUND THE WORLD—Chile" was held on June 30 at Renjaku Community Center. This popular event was enjoyed by 28 persons, including seven foreign nationals, to try their hands at Chilean cuisine.

Mrs. Valeria Lübbert from Chile graciously served as the leader and lecturer. Her husband, Mr. Andrés Guzmán, was her able assistant.

The menu featured three items: "Pebre Chileno" (spicy sauce of raw tomatoes) "Curant en olla" (potato and stewed seafood), and "Turron de vino" (wine-flavored meringue).

After the meal, Mrs. Valeria introduced the culture of Chile with a film presentation. The finale was a demonstration by Andres and Valeria of the Chilean national dance "Cueca" to enthusiastic applause.

#### またかしゃ ここえ 参加者の声 Partícípants' comments

○貴重な経験でした。実はパクチーが苦手なのですが、臭みや苦みを感じず美味しく食べることができました。

It was a valuable experience. Actually I usually don't care for coriander, but I found this dish delicious without any strong smell or bitterness.

○メニューの紹介・調理・国の紹介・ダンスととてもチームワークの良いご夫妻で ぜひまた MISHOP でお曽にかかりたいと思います。

Introduction of the menu, the cooking, the introduction to Chile and the dancing and teamwork were all great! Hope to see you again at MISHOP!

Olt was a very good experience. I really think that these kinds of activities are the best to share with friends. The food was delicious and the explanation was clear. I would like to participate in the same event in the future. Splendidly done!

(とても良い経験でした。友人とともに楽しむには最高の活動だったと憩います。 は食いままとてもおいしく、説明もわかりやすかったです。またこういった活動に参加したいです。素晴らしかった!)









キックオフミーティングの出席者の大半が60代以上でした。各部会や定例かららったいに、会議を会や定例がいる。会員グループの活動報告の中でも会員の高齢化と参加者の減少が自立をました。LLJではボランティアをより、変えている。というでは、カルリックがはなまりました。としてはボランティアをより外国籍市民が順番待ちをしています。とうしたら30代、40代、50代の会員を増やせるか。今後の課題だと感じました。

Most of the attendees at the Kick-off Meeting were over 60. The aging of MISHOP members and the decline in attendance for each group and regular activities in the reports of the membership groups were made clear. There are foreign residents who want to study at LLJ now on a waiting list due to a lack of volunteers. How can we increase the number of members in their thirties, forties, or fifties? This is an ongoing challenge.